

令和6年度第1回運営推進会議報告書

法人名	大山町社会福祉協議会	事業所名	地域密着型通所介護ほほえみ
開催日時	令和6年5月8日(水)14:00~14:40		
参加者	利用者(1名) 利用者家族(1名) 地域住民代表(3名) 大山町職員(1名) 事務局(3名)		

1. 活動状況報告

地域密着型通所介護と総合事業、元気アップ(R5.10月~R6.3月)までの登録者数及び、延人数についての報告を行う。昨年度と同時期に比べ、12月から3月までの期間がショート利用、体調不良による入院、コロナ感染者の増加により、利用が減少傾向となった。

2. 活動状況に関する評価

【事故・ひやりはっと報告について】
 期間中に起こった主な内容を報告する。今後も事故が未然に防げる対応を心掛けていくよう、職員間で徹底していく。

【デイサービスの行事やボランティア交流について】
 今回も行事内容を、写真を通じて紹介させていただく。季節に合わせた行事と、毎月、たくさんのボランティア様がお越し下さり、様々な内容で交流をしていただき、利用者様が大変楽しまれたご様子で、「また来て頂きたい。」と話されていた。これからも引き続き、依頼させていただきたいと思う。

3. 事業所への要望、助言等(※会議で委員が発言した主な要望、助言等を記載)

①	元気アップ教室の内容を知りたい。利用時間が90分と聞いているが、「もう少し居たいのに短いのでは。」との声を聞いている。
②	地域密着型通所介護の1日の定員数について教えてほしい。
③	送迎時、利用者様が不在や緊急事案だった場合、どのように対応しているのか。
④	通所サービスの内容について教えてほしい。詳細を知らない方が多いので、もっと紹介をする場があっても良いのではないかと。いきいきサロンに参加をしているが、そのような機会に話をするのはどうか。
⑤	職員数が少ないのではないかと感じている。職員が体調不良になり、出勤出来なくなった場合の対応時が大変ではないか。
⑥	デイサービスの利用について「行きたくない」、「終わりの場所」と思って偏見を持たれている方が集落におられる。そのような方にどのように話せばよいか。

4. 要望、助言に対する考え方(※上記3に対する事業所の考え方を番号順に記載)

①	元気アップ(大山町受託事業)は介護予防事業であり、要支援1・2の方、事業対象者(65歳以上の方でそのおかれている環境、状況から要支援(要介護)状態となることを予防する為の援助を行う必要があると基本チェックリストにより該当した方)の利用が多く、健康維持のための体操、脳トレ等を行っている。時間は90分以上と定められている。定員は10名としている。現在は2名の方が休まれることなく、利用いただいている。今後、時間延長についての要望があれば、検討する。
②	定員18人以下の小規模なデイサービスであり、一人ひとりに合わせた対応を心掛けている。
③	お迎え時に利用者様が不在であった場合、家族に状況確認し、まず近辺を探索し、発見が難しい場合は警察に連絡し、職員は車両で周辺の探索を行っている。自宅での体調不良による転倒や意識消失等が起きていた際には、意識レベルを確認し、必要と思われた場合には救急車要請を行っている。

④	社協が介護保険事業と地域福祉事業を行っているが、社協の通所サービスに特化してお伝えすることは難しい。いきいきサロンは大山町からの委託事業である為、一步間違えると営業活動になり得る可能性がある。通所介護とはどういうものか、制度等についての内容であればサロンの方でもお話し出来ると思われる。また社協の事業として、地域座談会というものが、集落に伺いお話をさせていただくことがある。このような機会やサロンでお世話をして下さる方と調整させていただき、検討する。
⑤	1日の利用者数に対して職員配置を検討しているが、新規利用や入院等、急な利用の変動が見られることもある。安心してご利用いただけるよう、職員配置については今後も考慮していきたい。
⑥	各事業所によってサービスの内容や特徴は色々あるので、時代の流れに添ったプログラムを考えていかなければいけない。そこからずれた視点であると「私は、そういうところには行かない。」という印象を持たれやすくなると思われる。その為、常にアンテナを張り、ニーズ等情報収集をしておく必要がある。広報誌やフェイスブック等でデイサービスの日常を紹介しており、このような発信からでも一人でも多くの方に周知して頂くことに繋がればと思う。

5. その他(※上記3に該当しないその他の主な事項を記載)

--